

国営備北丘陵公園運営維持管理業務の評価（案）の概要

1. 業務内容及び契約期間

国土交通省の所管する国営備北丘陵公園（広島県庄原市）の運営維持管理業務
契約期間：平成 25 年 4 月から平成 28 年 3 月の 3 年間（民間競争入札 1 期目）

2. 実施状況に関する評価

業務の実施にあたり確保されるべき達成目標として設定された質については、平成 25 年度及び平成 26 年度の 2 か年間で総括して見ると、概ね確保されている。公園利用者数について、平成 26 年度は目標を下回っているが、これは天候といった受託事業者の責によらないものであり、それでもなお受託事業者では自ら魅力的な新規イベントを行うことで集客に努めている。

また、民間事業者の自らの改善提案に基づき、閑散期となる冬季に「屋内ガーデニング」をはじめ各種イベント等を積極的に導入し、新たなニーズの発掘に取り組み、来園者の増加に寄与していることは、民間事業者の創意工夫が存分に発揮され、当公園の魅力を一層高めたとして評価できる。

3. 実施経費に関する評価

平成 25 年度における委託費の支払額は 509,751 千円であり、民間競争入札実施前の平成 24 年度の実施経費 491,429 千円と比較して、18,322 千円（3.7%）の増加となっているが、民間競争入札実施に当たり植物管理業務の業務内容を拡大したことに加え、落札率の差異等による経費増があったことによるものである。

4. 今後の事業について

民間競争入札の導入により、公共サービスの質は確保されている。実施経費は増加しているが、業務範囲の追加があったことに加え、落札率の差異等という要因があったためである。また、民間事業者の創意工夫も十分に発揮されており、良好な実施状況となっている。今後も国土交通省と民間事業者の連携のもと、適切に事業が実施されることが期待される。

これらを踏まえ、国土交通省では、次期事業の実施に当たり、これまで以上の質の維持向上と一層の民間事業者の参入促進を目指して、事業実施期間の延長、多客期（4 月～5 月）を考慮した事業開始時期の工夫、業務の引き継ぎ事項の充実、業務評価の導入及び業務実績に関する要件の緩和等さまざまな改善策を講じることとしている。このように弛まない改善を図ることにより、更なる成果が得られるものと考えられる。

これらを総合的に判断すると、次期においては、「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針」に基づく新プロセスに移行した上で、事業を実施することが適当である。

以上